

# 提言型政策仕分けを受けた医療保険部会及び中央社会保険医療協議会における検討事項

## 社会保障：医療サービスの機能強化と効率化・重点化

- 論点① 医療サービスの価格はどうあるべきか。
- 論点② 今後どのような医療サービスに重点をおくべきか。
- 論点③ 病院勤務医の待遇改善をどう実現していくか。

### 提言型政策仕分け とりまとめ（提言）

- ・ 国民・地域のニーズを具体的に把握して、診療報酬の改定を行うべき。
- ・ 勤務医と開業医、また診療科間について、リスクや勤務時間に応じて報酬配分を大胆に見直す。
- ・ 医師不足改善のため、勤務医と開業医とのアンバランスや地域別・診療科別の医師不足の状況を踏まえて、メリハリの利いた診療報酬改定を早急に行うべき。また、中長期的には、開業医と勤務医の収入をバランスさせることを目指し、開業医・勤務医の平準化を進める。
- ・ 医療サービスの価格全体の前提となる診療報酬本体（医師の人件費等）については、「据え置く」6名、「抑制」3名という意見があったことを重く受け止めて対応されたい。
- ・ 中長期的な検討課題として提案された地域・診療科間の偏在の解消など、医師不足の問題に対応する医療供給体制の在り方について、社会保障審議会で検討の上、行政刷新会議に報告されたい。

中央社会保険医療協議会

- ・ 診療報酬の加算が効果的に待遇改善につながるよう、勤務条件が厳しい診療科を中心に待遇改善につながる条件付けを行うべき。

中央社会保険医療協議会

## 社会保障：後発医薬品の使用促進など薬の有効な使用策

論点① 後発医薬品の使用を進めるための方策は何か。

論点② 病院でも薬局でも買うことのできる薬の負担はどうあるべきか。

### 提言型政策仕分け とりまとめ（提言）

・先発品の薬価は後発医薬品（ジェネリック）の薬価を目指して大幅に引き下げ、医療費の支出と国民の負担を最小限にすべき。

中央社会保険医療協議会

・先発品薬価と後発品薬価の差額の一部を自己負担とすることについて検討すべき。

社会保障審議会  
医療保険部会

・医師・薬剤師から主な先発品・後発品のリストを患者に提示する義務を課すことについても検討すべき。

中央社会保険医療協議会

・後発医薬品の推進のロードマップを作成し、行政刷新会議に報告すること。

・ビタミン剤など市販品類似薬については、自己負担割合の引き上げを試行すべき。さらに、一部医療保険の対象から外すことについても検討すること。

社会保障審議会  
医療保険部会